

天然スギ家屋で

疲れた脳が回復

天然の国産スギの家と、合板など新建材の家とは住み心地に差があるのかを比較実験している九州大の研究グループが、天然材の家では疲れた脳が回復しやすく、体も活動的な状態になることを突き止めた。九州大での日本木材学会九州支部大会で3日発表された。

研究グループの清水邦義助教(農学研究院)は「スギの香りが影響したのでは」と推測する。

研究グループは、大分県臼田市特産「津江杉」の家と、広さも見た目も同じ新建材の家を1棟ずつ大学構内に建設。2月から、実験内容を知らない学生10人が1人ずつそれぞれの家で作業したり一晩寝たりするのを、脳科学、生理学、心理学の観点から調べている。

脳科学実験では、パソコンで30分間作業する前後に脳波を測定。新建材の家では作業後、眠いときに多いデルタ波が増加、精神活動が盛んな



比較実験で、天然の国産スギ家屋内でパソコン作業をする被験者の学生
11月25日、福岡市東区の九州大

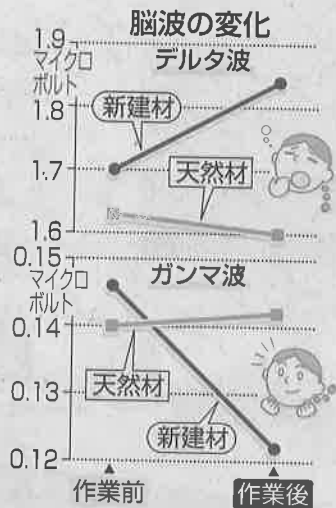
九州大、合板と比較実験

ときに多いガンマ波は減少し、作業で脳が疲れたことを示した。天然材では脳波が作業前後でほとんど変わらず、作業中の脳の疲労が急速に回復したことを示している。

生理学実験では唾液中の成分を計測。天然材では新建材と比べ、交感神経活動が活発なときに増えるアミラーゼが多かった。体が活動的な状態にあったことを意味する。

心理学実験では、緊張や不安の度合いを調べる心理学テストを実施。2棟の間で差はなく、どちらでも過剰しても不快感を持つ人はいなかった。

清水助教は「被験者の脳と体は天然材の方が良い傾向を示した」と説明。「天然材の良さが分かれれば国内林業の保護にもつながる」と期待する。実験は現在も継続中で、季節ごとの住み心地の違いも分析する予定だ。



障害理由に中絶当然視

10

も一部で試験的に導入されているが、ボイスは「費用が高いので、公的医療で提供されるまでには10年かかるでしょう」と断言している。

波の上緑地愛称「うみそら公園」市民から公募 市決定
那覇港管理組合が那覇市の波の上ビーチ北側に整備した「波の上緑地」の愛称が、「波の上うみそら公園」に決まった。風を感じ、海と空を眺める憩いの場、市民から親しまれる公園を目指すという。



「波の上うみそら公園」の愛称をアピールする與那嶺隆直さん(左)と池城隆明さん(4日、那覇市)

乳がん検診啓 多彩なイベント

ピンクリボン実

乳がんの早期発見・治療につなげてもらうと、琉

検診費の補填

Cueピンクリボン実行委員会(駒木根澄子代表は、

4日、県庁で

14日に浦添市でこのホールで女性による出店イベント、10月16日には琉球ゴルフ倶楽部でチャリティーゴルフコンペを開く。収益は

乳がん検診の促
ベントへの参加
実行委員会メン
午後、県庁

胎児の命を奪うことになるので通常の病気と同列には論じられないことや、障害者差別を助長する可能性がある」と記者が指摘すると、初めてそれに気付く。出生前診断が当たり前になり、ほとんど議論がなされない「思考停止」に陥っているようにも見えた。

344点の

愛称選定委員
上間清琉大多
満市の公務員
ん(45)と、若
治会長の與
(60)の作品が
組合は4日、
を表彰した。

池城さんは「
公園になって
那嶺さんは「
庭のような場
縄の発展に役
い」と期待し
同公園は1
ら2012度
約5秒にダイ
ノーケリング
ーチ、多目的
ベキューエリ
所などを設け
同組合の藤
管理者は「市
ら近く、多く
てほしい」と